

第11回 国際保険流通会議 in 東京 2022

～リスクの連鎖 想像力を高める～

日時：2022年11月19日（土）

会場：港区立産業振興センター ホール小
（東京都港区芝5-36-4 札ノ辻スクエア）

対象：国内外問わず保険流通に関わる方、大学生

定員：会場 50名 ウェビナー 200名

※会場へのご来場は、定員になり次第締め切らせていただきます

主催：日本青年会議所保険部会

一般財団法人

保険代理店サービス品質管理機構

後援：一般社団法人日本損害保険協会

一般社団法人生命保険協会

一般社団法人日本損害保険代理業協会

一般社団法人日本保険仲立人協会

港区立産業振興センター ホール小 + ウェビナー

世界では災害やテロ、感染症など広範囲で甚大な被害をもたらすリスクが多数発生し、被害とその影響は年々大きくなっています。保険業界は消費者とリスクを通じて繋がっており、保険流通に関わる者は消費者に対してリスク対策を呼びかけ、消費者を守る責任があります。本会議の発足のきっかけは東日本大震災でした。発足当初、広範囲で甚大な被害をもたらすリスクを対象に企画されましたが、これまで災害による対応についての話題がほとんどでした。この間、テロ、新型コロナウイルス、戦争が発生し、具体的にその対応を検討しなければならない世の中になってきました。今回は、リスクから消費者を守る立場にある保険流通に関わる者のリスクに対する想像力の必要性とその責任を考える会として企画・開催いたします。

プログラム

12:30	受付開始	
13:00	主催者挨拶	
13:05 ～13:30	金融庁 監督局 保険課 生命保険モニタリング長 福田 憲夫 氏	①保険代理店に係る業務品質評価基準及びその活用について ②今事務年度における代理店モニタリングのあり方について
13:30 ～14:20	マーシュブローカージャパン株式会社 取締役会長 平賀 暁 氏	グローバルリスクの潮流とリスク連鎖の考察 ～リスクを洗い出すリテラシーの向上に必要な資質とは？～
14:20 ～14:30	休憩（10分）	
14:30 ～15:15	名古屋大学 予防早期医療創成センター 特任教授 吉田 安子 氏	健康リスクの連鎖を予防する ～パンデミックで浮き彫りになった日常管理の重要性～
15:15 ～16:15	保険代理店によるパネルディスカッション コーディネーター： （一財）保険代理店サービス品質管理機構 専務理事 中川 典俊 氏 パネラー：株式会社ベストパートナー 代表取締役 門 和宏 氏 ティ・アイ・エス株式会社 代表取締役 岩井 健治 氏	「顧客に選ばれて勝ち残る」 顧客本位の業務運営と態勢整備の課題、生産性向上に向けた課題と達成に向けた動き
16:15 ～16:25	休憩（10分）	
16:25 ～17:25	各業界団体によるパネルディスカッション コーディネーター： 日本青年会議所保険部会 第43代部会長 倉橋 俊輔 氏 パネラー： （一社）日本損害保険代理業協会 会長 小田島 綾子 氏 （一社）日本保険仲立人協会 専務理事 宮武 祥夫 氏 NPO法人 日本リスクマネジャー＆コンサルタント協会 副理事長 松本 一成 氏	顧客に選ばれる保険代理店、保険仲立人のレベルアップには具体的に何が必要か。保険代理店、保険仲立人の持続可能な経営とは何か。
17:25 ～17:30	閉会挨拶	

第11回 国際保険流通会議 in東京 2022 参加申込書

第11回 国際保険流通会議 in東京 2022に参加をご希望の方は、
下記の必要事項をご記入の上、FAXまたはQRコードからお申込みください。
尚、お申込みの〆切は、**2022年11月16日(水)17時まで**とさせていただきます。



FAX番号：03-6868-3937 (国際保険流通会議事務局 宛)

会社名

住所 都 道
府 県

TEL: FAX: E-mail:

1名あたりの参加費は以下の通りです。該当に○をつけてください。

一般 ¥2,500 ・ 後援協会加盟会社所属 ¥2,000 ・ 保険部会メンバー ¥2,000

参加者氏名 (ウェビナーへの参加をご希望の方は数字横の□にチェックをお願いいたします)

1 : 6 :
2 : 7 :
3 : 8 :
4 : 9 :
5 : 10 :

新型コロナウイルスに関する感染予防対策について

(1) ご利用者向け対策

- 入場の列は間隔を空けるとともに行列の整理や立ち位置の表示を行い、混雑を回避
- 当日の受付の他、事前受付により入場時の混雑を極力回避
- 余裕を持った入退場及び休憩時間の設定
- 座席の最前列席からステージ前までの十分な距離の確保、前後左右を空けた席配置
- 会場に手指消毒を設置
- 非接触型機器などで入場者を検温し、発熱者は入場を制限
- 資料は手渡しではなく据え置き方式で配布
- WEBでの来場事前登録システムを活用し予定来場者数を事前把握

(2) 施設環境配備

- こまめな換気を実施 (1時間に2回以上、1回に5分間以上)
- トイレ等、不特定多数の者の手が触れると考えられる場所についてはこまめな消毒を実施

(3) 講師・会議関係者の感染予防策の徹底

- 従業員の検温の徹底(37度以上や平熱から1.5度高い場合、または倦怠感がある従業員には自宅療養、必要な検査の受診を要求)
- 咳エチケット、マスク着用、手洗い、定期的な備品の消毒の徹底
- 登壇者が登壇中も身体的距離を確保できるよう、立ち位置や座席の位置を工夫
- スタッフを兼任とする等の工夫やワークフローの最適化により会議関係者の人数を最小限に限定
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し不特定者の共有を制限
- マイクは登壇者ごとに用意し、使いまわしはしないよう徹底
- 身体的距離を確保するよう努めることを徹底

(4) 感染者発生時に向けた対応

- 感染の疑いがある症状が発生した方にはマスク着用のもと速やかにご帰宅いただきます
- 濃厚接触者や来場者等に、後日連絡や情報提供ができるよう参加者把握シート等を活用し、参加者の氏名、住所及び連絡先(電話番号)を把握し、名簿を作成します ※名簿は当面の間、1か月以上保管させていただきます
- 入手した個人情報(目的外)では使用いたしません

※ご来場者様へのお願い

- ご自宅での検温の実施をお願いいたします。会場での検温の結果37.5度以上の場合には、セミナーへの参加をご遠慮いただきます。
- 咳エチケット、マスク着用、手指消毒の徹底をお願いいたします。また各自ハンドタオル等をご持参ください。
- 対面での会話や大声での会話は控えていただきますようお願いいたします。
- 接触機会を回避するため参加料は事前決済でのご対応をお願いいたします。
- 発熱・咳・下痢等の症状がある方、同居家族や身近な知人の感染が疑われる方、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域等の在住者との濃厚接触がある方は、ご来場を控えていただきますようお願いいたします。